眼科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「深在性真菌症に起因した眼病変に関する多施設後ろ向き研究」への協力をお願い

眼科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象:2014年1月1日から2022年3月31日の間に岐阜市民病院、松波総合病院および岐阜大学医学部附属病院にて深在性真菌症を呈し真菌性眼内炎を疑われ眼科紹介となった患者さんを対象としています。

研究期間:倫理審査委員会承認日～2025年3月31日

研究目的・方法:

真菌性眼内炎は、体内に感染した真菌、多くはカンジダが眼内へ浸潤することで発症する疾患で、発見が遅れると失明に至る病気です。症状として、初期には目のかすみや飛蚊症(ひぶんしょう)を自覚し、進行すると視力低下、充血あるいは眼痛などを生じます。進行した眼内炎の発症率はカンジダ血症で1～2%前後です。早期に適確な診断ならびに適切な治療を開始することにより失明は予防されます。

この研究は、これまでに深在性真菌症と診断された患者さんの眼症状および全身検査所見についてカルテに記載された内容を総合的に解析することで、真菌性眼内炎に対する有効な検査および初期治療法を探索することを目的としています。

本研究によって、我が国における真菌性眼内炎の病態や原因を探索し、より早期の診断と治療開始に役立てることが出来ます。

研究に用いる試料・情報の種類:

患者さんの情報として、カルテに既に記載されている発症年齢、性別、既往歴、患眼、初発症状、経過観察期間中にみられた随伴症状、初回受診診療科、真菌検出前の診断名および治療法、初診時矯正視力、眼底所見、頭部画像所見、初回医療機関受診から診断確定までの期間、血液検体採取日ならびに報告日、血清 -D グルカン値、経過観察期間、確定診断後の治療、予後などの記録をそれぞれ調べます。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわ

たって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 眼科

電話番号 058-230-6288

氏名:望月 清文

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 眼科

氏名:望月 清文

参加施設ならびに研究責任者

松波総合病院眼科

第二部長 末森 晋典

岐阜市民病院眼科

部長 川上 秀昭

中濃厚生病院

医長 田中 大貴